

【目次】

1. 第63回 セミナーのご案内 (ハイブリッド開催)
2. 第137回 定例会の報告
3. 事務局からの連絡

1. 第63回セミナーのご案内 (ハイブリッド開催)

【テーマ】 デジタルトランスフォーメーションとヘルスプロモーションのためのウェアラブルデバイス動向

【講師】 塚本 昌彦 先生 (神戸大学大学院工学研究科・教授)

【日時】 2023年3月11日 (土) 14時00分～16時00分

【会場】 日本女子体育大学 烏山キャンパス 東館3階 E308教室

(Cisco Webex Meetings を用いたハイブリッド開催)

※当日の参加 URL は、申し込みいただいた方に、別メールにてお知らせいたします。

【参加費】 : [会員] 無料、[非会員] 1000円 (但し、学部生無料)

【申し込み】 : 下記 Google フォームよりご登録ください。

<https://forms.gle/DwKHJsYWZj6xkmY37>

※申込締切 : 2023年3月8日 (水)

【ねらい】

コロナ禍の影響により、生活の多くの側面でデジタル化の進行のスピードはさらに加速化しました。商取引のデジタル化は接触を減らすという観点からも感染予防対策の一部に位置付けられるなど、社会の認識の変化や受容の拡大が進んだと言えるでしょう。

健康づくりやヘルスプロモーションの現場に目を向けると、個人の消費者に対するオンラインでの身体活動の機会の拡充といった商業的な領域では、デジタル化も大きく進展したといえます。しかし、公共的な分野ではデジタル技術の進歩の恩恵は享受されていない印象を受けます。例えば、集団を対象にした自治体の健康・福祉に関わる取り組みの現場においては、オンラインツールの活用の浸透は遅れていると思われれます。対象のデジタルリテラシーのレベルなどの特徴や情報保護に関するリスク、あるいは公共的な立場からの公平性の重視などの観点が、浸透の壁となっている要因の一部として考えられるかもしれません。

このような状況を鑑み、本セミナーでは、ヘルスプロモーション・健康づくりにおけるデジタルトランスフォーメーション (DX) の潮流を知り、どのように実践や研究に取り入れ

ていけば、個人と社会に良い形で貢献できるかを考える機会設定することを目指します。講師に我が国のウェアラブルデバイスの研究に先駆的に取り組み牽引されている神戸大学大学院教授の塚本昌彦先生を講師に迎え、ウェアラブルデバイスという具体的な DX を担うツールを取り上げ、DX の潮流でキーとなる情報をどのように個人や社会に還元することが可能なのかなどの観点から検討してみるような時間にしたいと思います。

2. 第 137 回 定例会の報告

<第 137 回 定例会>

【テーマ】：「市区町村健康増進計画のアクションリサーチ的展開」

【演者】：齊藤恭平（東洋大学ライフデザイン学部）

【日時】：2023 年 2 月 4 日（土）15 時～17 時

【会場】：東洋大学赤羽台キャンパス WELLB HAB-3 8 階

健康スポーツ学科共同研究室（「Cisco Webex」を用いたハイブリッド開催）

※学科が引越しになる都合上、会場が変更になる場合があります。

※大学システム使用上、リモートアプリケーションは「Cisco Webex」となります。

下記リンクより「Cisco Webex」のダウンロードをお願いいたします。

<https://toyouniv.webex.com/toyouniv/j.php?MTID=mf19277889aaca4fcc85f2afdc0dba090>

【参加費】：[会員] 無料、[非会員] 500 円（但し、学部生無料）

第 137 回定例会を 2023 年 2 月 4 日（土）、東洋大学赤羽台キャンパス WELLB HAB-3 20203 教室を会場に Webex を用いた対面とリモートのハイブリッド形式で開催した。本定例会の担当である齊藤恭平（東洋大学ライフデザイン学部）が講師を務め、「市区町村健康増進計画のアクションリサーチ的展開」をテーマに講義を 90 分の後、30 分ほどのディスカッションを行った。リモートも含み 20 人ほどの参加者があった。

講師が過去 20 年ほどの間にかかわった市区町村の健康増進計画策定とその推進に関する経験から、ヘルスプロモーションの基本的な考え方とアクションリサーチ的な展開の類似性に関して話題が提供し、さらに計画策定と推進に関して必要なプロセスを話した。とくにステイクホルダーの質や巻き込み方法、参加のプロセスは重要であり、計画策定の際の事前評価や計画進捗に関するプロセス評価の重要性について示した。

計画策定から推進、そして再計画というスパイラルなプロセスに関してオタワ憲章のマークとの関係、アクションリサーチに必要なプロセスを語った。

3. 事務局からの連絡

- ◆現在、事務局業務は週2日としております。
メールでのご対応等、お時間をいただくことがあります。
ご了承ください。
 - ◆令和4年度の会費の件ですが、入金がこれからの方は、
ご多用中とは存じますが、お急ぎお振込いただきますよう
お願い申し上げます。
-

根岸加奈子

--

健康社会学研究会

☆HP☆：<http://healprokenkyukai.sakura.ne.jp/wp/>

事務局：〒157-8565 東京都世田谷区北烏山 8-19-1

日本女子体育大学 助友裕子研究室内

TEL/FAX: 03-3300-3216

E-mail: healpro.info@gmail.com

(担当：根岸加奈子、細川佳能、助友裕子)

--